

オープンアクセスジャーナル化に関する アンケート 結果概要

2025.09

日本科学教育学会 編集委員会 OAJ化検討部会

注記

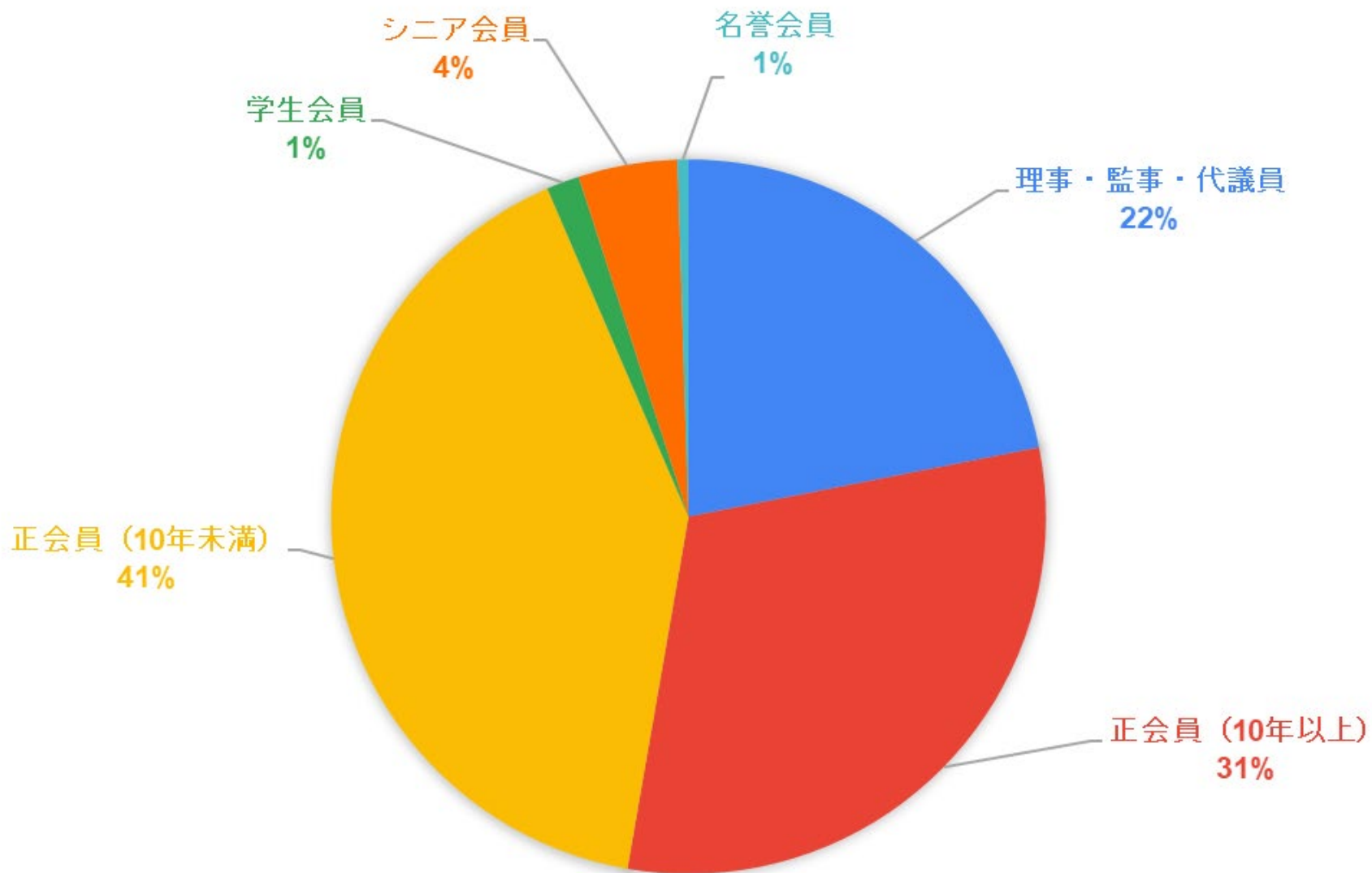
- ・本レポートは日本科学教育学会の学会員に共有することを目的としています。
- ・この概要は集計結果のみを掲載しており、個人が特定される情報は含まれておりません。

アンケート概要

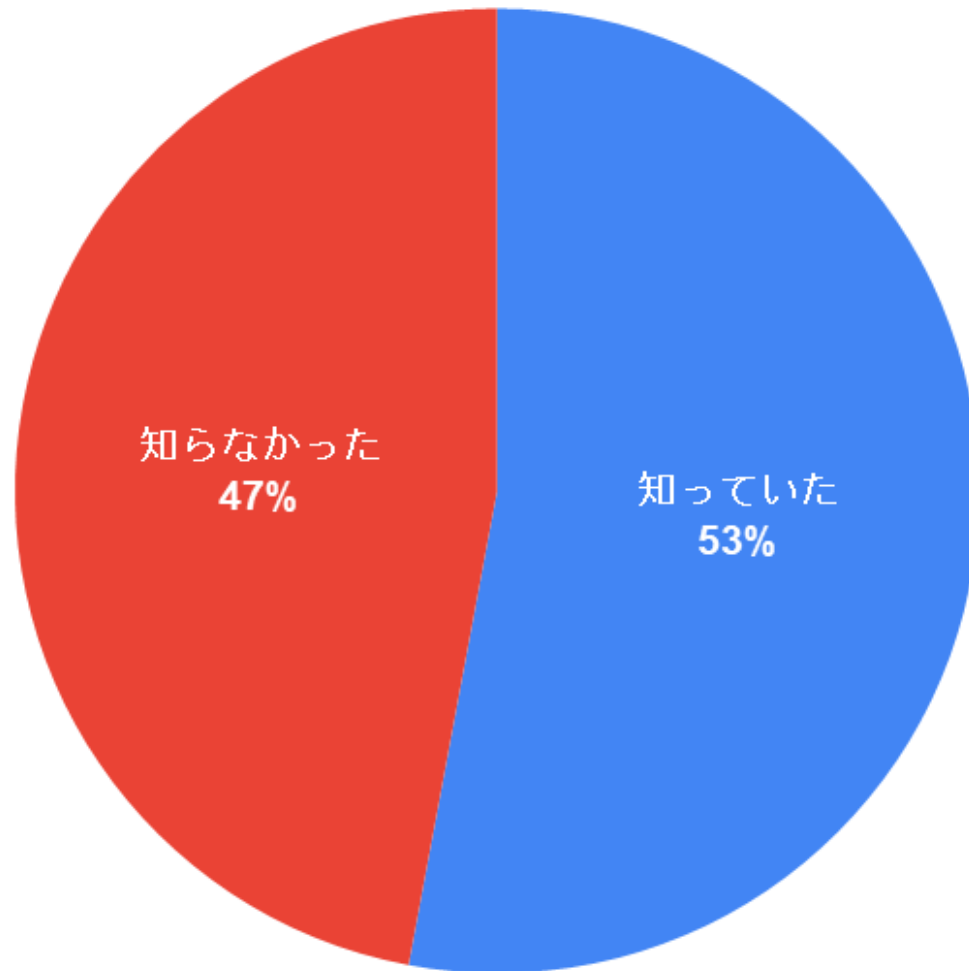
- 理事・監事・代議員アンケート（実施期間：2025/5/16～2025/5/31）
回答数…44名
- 会員アンケート（実施期間：2025/6/15～2025/7/15）
回答数…160名

総回答数（会員向け＋理事・監事・代議員向け）…204名

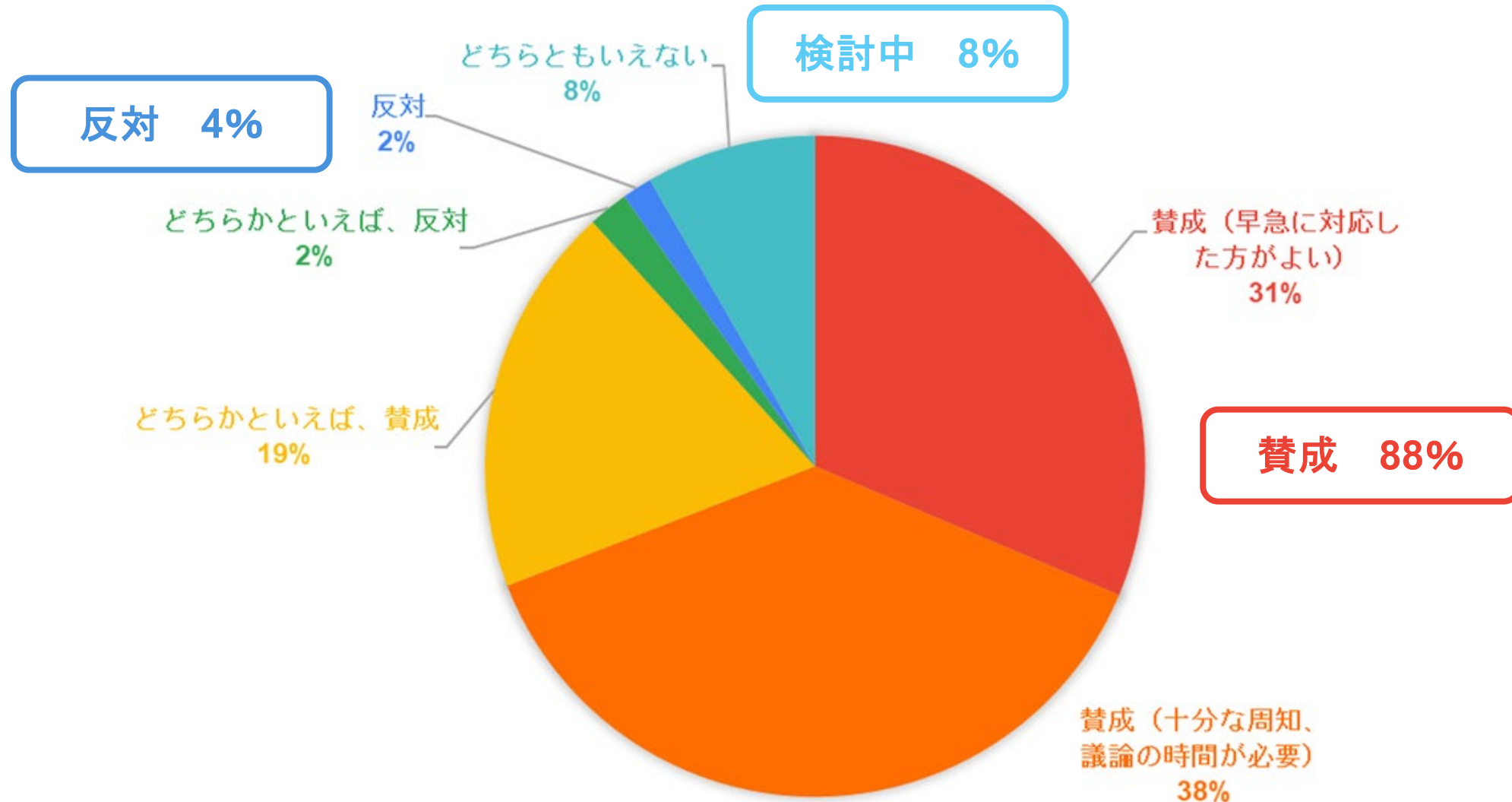
回答者内訳 (n=204)



Q 『科学教育研究』がオープンアクセスジャーナルでないことを、ご存じでしたか？（ $n=204$ ）



Q 『科学教育研究』のオープンアクセスジャーナル化 へのご意見を教えてください。 (n=204)



Q 『科学教育研究』のオープンアクセスジャーナル化に向けて、心配なこと、知りたいこと、気になること等を教えてください。（ $n=160$ ）

- 1. 費用について（例：著者の費用負担、学会全体の予算への影響）**
- 2. オープンアクセス化のメリット・デメリット（『科学教育研究』の場合）**
- 3. 現行制度（フリーアクセス）からの変更点**
- 4. 論文投稿及び編集業務への影響（投稿規定や手続きの変更の有無、業務量への影響）**
- 5. オープンアクセス化のメリット・デメリット（一般論）**
- 6. ライセンス情報と著作権の関係**
- 7. オープンアクセス化に関する社会状況と必要性**

※本調査項目は、会員向けアンケートにおいてのみ実施。